

おうしゅう まるかじり通信 vol.4

奥州市6次産業化・地産地消推進協議会 (奥州市農林部農政課食農連携推進室内)



江刺ひがし小学校(藤澤周一校長、全校児童106人)で、江刺りんご生産者と3年生児童との交流会が昨年11月21日に行われました。この交流会は、生産の喜びや苦労などについて直接聞くことにより、食べ物の大切さ、農業への興味関心など理解を深めてもらう目的で行っているものです。



おいしさの秘密を学んだよ 「奥州っ子給食」に合わせ交流会

高田千鶴さん、そしてJA江刺りんごマスコットキャラクターのジョナ君が参加。授業終了後は、献立に地元食材を使用した「奥州っ子給食」を一緒に食べました。春から夏にはりんごの摘果や葉摘みの作業も体験した児童たち。授業では高橋さんが改めて、江刺りんごをおいしく育てる秘密を説明しました。



皮ごと、いただきます!

いちばん甘いのが皮の部分。ポリフェノールが含まれているよ



ごちそうさまでした
おいしかったー!



この日のメニューは

MENU

- ・江刺金札米ごはん
- ・とり肉のじゅうねみ焼き
- ・すき昆布とツナの煮物
- ・奥州はっと汁
- ・江刺りんご(サンふじ)
- ・牛乳



「摘果では、例えば1万个なっていたら9000個、9500個は落としてしまいます。もったいないけど、そうしないと玉が大きくなりません。葉摘みでは、りんごが赤くなるように、余分な葉を落として太陽の光を当てます」
給食後、児童からは「甘いのと、少しすっぱいのを食べて感じました。収穫の時期がバラバラになっていることとか、いろいろ知ることができた」との感想が聞かれました。



おいしい江刺りんごができるまで



12~3月 せんてい 剪定

「剪定がいちばん大変。一人で寂しいけど大事な作業」と高橋さん



5月 じゅふん てきか 受粉、摘花

めしべに花粉をつけ、不要な花を摘み取ります



5~6月 てきか 摘果

中心果と呼ばれる真ん中にある果実を残し、側果と呼ばれる中心果の周りの果実をすべて落とします



8~11月 はつ たままわ 葉摘み、玉回し

太陽の光が当たるように、余分な葉を摘みます。りんごの実を回して均等に色が着くようにする作業を「玉回し」と言います



9~11月 しゅうかく せんか しゅうか 収穫、選果・出荷

8月下旬には紅ロマン、9月につがる、10月にはジョナゴールド、11月にはシナノゴールド、王林、サンふじ、のように順番に収穫していきます

ただいま、 農家修行中!

奥州市では「新規就農を目指す地域おこし協力隊」として、3人の隊員が活動しています。奥州市の食と農業、暮らしの魅力を協力隊がご紹介します!



こんな活動&研修をしています



たか かし あい 隊員
高橋 愛 隊員

江刺でトマト栽培を修行中です。トマトは一日中世話が必要で、トマトの実は葉っぱがこすただけで傷が出てしまうので、手入れするときもそっと触れなければなりません。まさに赤ちゃんを育てるかのごとく。トマト栽培には「愛情」が必要だと実感しています。



やま ぐち やま ぐち 隊員
山口みなみ 隊員

初年度は胆沢でピーマン栽培の研修をしました。暑い時期はピーマンの成長も著しく、収穫や選別作業も忙しいです。ハウスから出て風を浴びる時間がほっとします。ポッドキャスト「みいっぴの日報」では、研修や奥州市での暮らしについて話しています。聞いてみてください。



たか かし ゆ き 隊員
高橋有紀 隊員

コメ農家を目指して研修中です。研修2年目は、農業に興味がない人でも田んぼに遊びにきてもらいたいと思い、田んぼの中の小さな図書館「リトル・フリー・ライブラリー 奥州」をオープンしました。田んぼに癒されるひと時を過ごしにきてください。



奥州市の「食」、ここが好き!



(愛) 外食チェーン店でもお米がおいしいのに衝撃を受けました。それもそのはず、地元産のお米を使用しているということでした。

(みなみ) 研修先で休憩中にいただくコーヒーやおやつがいつもおいしいです。

(有紀) 産直で買う野菜。知り合いが増え、農家さんの顔を思い浮かべながら野菜を手にするのが、贅沢なことだと思っています。

奥州市で好きな風景は?

(愛) 胆沢川の手前に広がる田んぼと、遠くには焼石連峰。毎日のように通る道ですが、つい車を止めて写真を撮ってしまいます。

(みなみ) 山や木、雲が見える景色が好きです。雪が積もると、動物の足跡がじっくり観察できるのも楽しいです。

(有紀) 1年を通して田んぼの風景に癒されています。サギやガン、ハクチョウなど季節ごとに様々な生き物が田んぼに遊びにきてにぎやかです。



こんな農家を目指します!

(愛) 「安心しておいしく食べられる野菜を作って届ける」のが私の目標です。先輩農家の皆さんは勉強熱心で、近年の暑さへの対応や、最大限おいしくするために努力と時間を惜しみません。常にアップデートしていく姿勢を私も心掛けたいです。

(みなみ) 自然の中で働くのが農業の魅力だと思っています。天気によって作業が変わったり、日が短いと外で働く時間が短くなったりしますが、季節の移ろいを感じます。地域の自然環境を観察し、理解を深めながら仕事をする農家を目指します。

(有紀) 田んぼのあぜ道を歩く時間が何より幸せな時間です。地域の景観として美しい田園風景が長く残るよう、田んぼの素晴らしさをみんなで分かち合う活動を続けていきたいです。

